

夫婦セミナーの報告

マリッジコース短期集中セミナー

部員 朴 忠勲

家庭教育部は初めてクリスチャンホームがさらに豊かに「家庭のような教会」として祝福されることを願って、8月26～28日(月～水)の日程で浜名湖バイブルキャンプ場においてマリッジコース短期集中夫婦セミナーが開催されました。猛暑が続く今年の夏でしたが朝晩は少し過ごしやすいう海風が吹く気候の中、夫婦17組と結婚前のカップル1組が全国から集い、妻や夫が互いの必要を受け入れ、それによって愛を伝えるように学びました。



結婚宴会場のような暖かい雰囲気の中で、入場するカップルには2人だけの愛情たっぷり写真を撮り、2人だけの愛情たっぷり座り、心穏やかな賛美を聞きながら開始を迎えました。丸山先生の歓迎の言葉と家庭教育部の紹介動画を見てから、講師である益田良一・静子先生(JECAグレイスコミュニティ牧師夫妻)の導きで始めました。マリッジコースとは講義形式ではなく、マリッジタイム(夫婦の話し合い)中心の7セッションで学ぶコースです。何がパートナーの一番目の愛の「言語」を知ること、パートナーが最も愛されている事、或いは無視されていると感じる事が何であるかまず一緒に話し合うことを目指します。各セッションの毎に「マリッジタイム」という夫婦だけで親密に向き合う時間が設けられており、日常生活に追われて会話が少なく夫婦がマリッジタイムで、そのセッションで学んだことを実践していく機会も与えられ良い習慣を身につくようになります。

札幌から講師先生夫妻と信徒リーダー夫妻4名(鈴木夫妻、吉井夫妻)も来られて夫婦の生々しい失敗、葛藤、

祝福を上演してくださいました。マリッジタイムが重なる内に入場の時の夫婦の表情が明るい笑顔に変わるのが、食卓の交わりの時間には夫婦同士の交わりが尽きない喜びに満ちていました。セッション毎にお茶菓子が与えられて、終わりににはカップル写真を額に入れてプレゼントしました。このコースは既婚者のための結婚セミナーでもあり、ノンクリスチャンを洗礼に導かれる伝道場として用いることができます。教会が健康になるためには家庭が健康になることで家庭健康こそが教会の健康のパロメータであり、教会成長の原動力であります。これからより健康な結婚関係を更に築き上げて行くことを手伝う家庭教育部になるようにお祈りください。最後に、浜名湖バイブルキャンプ場のスタッフの方々のご奉仕に心から感謝いたします。(久留米聖書教会牧師)

■夫婦セミナーに出席して

浜名湖での夫婦セミナーは、講義よりも夫婦の話し合いが中心でした。講師の証が素晴らしく笑いと涙でした。夫婦間で今まで赦しあえていなかったことも、今回よく話し合うことができ、お互いの気持ちがあわかって心から赦しあえたことが一番の恵みでした。夫婦が感情を分かち合うことの大切さを学びました。

(招待キリスト教会 打田光春)

今回のセミナーで、私たち夫婦(60代)の会話は、いかに焦点がずれたも

のだったか気づかされました。長年の夫婦生活でできた心の染みや垢が洗い流されたような気がし、また、お互いの感情を理解し、共有し合えることの充実感に、神さまが創られた夫婦、つてすごいと褒め称えずにいられませんでした。

(招待キリスト教会 打田有子)

このセミナーは私にとつて、別世界にいたようでした。なぜなら、心と言葉と行動によって、具体的に妻への愛の表現を学んだからです。妻の深い思いを定期的に聞き、受け入れる時を持ち、愛と恵みの言葉、プレゼントなどを学びました。妻を傷つけた事を妻と主の御前で悔い改め、赦しの力を体験出来たのは大きな恵みでした。

(福岡めぐみ教会牧師 入江喜久雄)

目からうるこのセミナーでした。私達はいままでいっている夫婦、と思っていきましたが、一番大切なことを忘れていたのです。それは互いの心を開くということ。業務連絡ではなく愛情・感情表現です。心の内を語り合い悔い改め、新しい歩みを祈りました。夫婦の回復こそ教会・社会の祝福なのです。

(福岡めぐみ教会牧師夫人 入江直美)

